

# JRIS

## 鉄道車両－ATS-S 形車上子結合度試験器

JRIS J 0588 : 2016

(JARI)

平成 28 年 5 月 1 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

**日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表**

	氏 名	所 属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	中山 康二	国土交通省鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学名誉教授
	近藤 圭一郎	千葉大学大学院
	古関 隆章	東京大学大学院
	岡本 勲	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	照井 英之	東日本旅客鉄道株式会社
	松本 耕輔	東京地下鉄株式会社
	石塚 孝志	日本車輛製造株式会社
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(顧問)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

**日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成**

	氏 名	所 属
(委員長)	岩 滝 雅 人	株式会社日立製作所
(委員)	塚原 克之	川崎重工業株式会社
	新川 明宏	日本車輛製造株式会社
	村田 和実	近畿車輛株式会社
	新井 静男	株式会社総合車両製作所
	向井 政彦	新潟トランス株式会社
	土井 裕	三菱重工業株式会社
	島田 富美朗	株式会社日立製作所
	山本 肇	株式会社東芝
	塩見 省吾	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機システムズ株式会社
	佐々木 敏夫	東洋電機製造株式会社
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
	藤原 達雄	ナブテスコ株式会社
	石川 達哉	日本信号株式会社
	鈴木 静男	株式会社京三製作所
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	守谷 文康	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長 制定 : 平成 28.5.1  
 掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>  
 発 行 者 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会  
 (〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1905 NTT-FAX ; 03-3257-3200)  
 審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会  
 作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 構成及びブロック図	2
4.1 構成	2
4.2 結合度試験器本体のブロック図	2
5 性能	2
5.1 環境条件	2
5.2 性能	2
6 構造及び寸法	3
6.1 構造	3
6.2 寸法	3
7 塗装	3
8 材料	3
9 試験・検査	3
9.1 試験の分類	3
9.2 試験項目	3
9.3 試験の環境条件	4
9.4 試験方法	4
10 包装・表示	5
10.1 包装	5
10.2 表示	5
11 提出資料	5
附属書 A (規定) 受渡当事者間の協定事項	6
附属書 B (参考) 結合度試験器本体のブロック図	7
附属書 C (参考) 結合度試験器及び測定用コードの外形	8
附属書 D (規定) 測定用コードの製作及び検査方法	10
附属書 E (参考) ATS-S 形車上子の結合度の測定方法	11
解説	14

## まえがき

この規格は、**JRS 78110-6D-14AR1C**（車上子結合度試験器）が 1987（昭和 62）年に公的な効力がなくなったのに伴い、その技術的内容を継続して利用することができるように、最新の製造実態をベースに見直しの後“日本鉄道車輛工業会（以下、鉄車工という。）規格の制定等に関する規程”に基づき“基準整備委員会”及び“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

### JRIS “J シリーズ” 制定の背景

日本国有鉄道が制定した鉄道に関わる規格（**JRS**）は、1987（昭和 62）年の国鉄の分割民営化時点で、公的な効力が終了し、以後、この規格を維持管理する体制がなくなった。しかし、鉄道車両の分野においては、この **JRS** の規定内容を該当する仕様書又は図面中に再掲する方法で活用する例が数多くある。

そこで、鉄道車両の分野で、今後も継続して利用する可能性の高い **JRS** の内容は、現在の技術レベルでの見直しを行った後に、鉄車工規格として受け入れ制定・登録することとした。

この規格は、“J シリーズ”として区分し、登録する総数が 100 件以下であるので、1001 番から始め、規格のグループ別に区切って番号を割り当てる方法を採用している。したがって、従来の **JRS** 番号との関連はない。

**JRIS** は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成している。

この規格の“J シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“R”及び“W”シリーズがある。

## 鉄道車両－ATS-S 形車上子結合度試験器

Rolling stock－The degree of coupling measuring equipment for  
ATS-S type pickup coil

### 1 適用範囲

この規格は、JRIS J 0581 に規定する ATS-S 形車上子の結合度を測定する ATS-S 形車上子結合度試験器（以下、結合度試験器という。）について規定する。

なお、受渡当事者間で協定する項目の一覧表を附属書 A に示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 60068-2-6 環境試験方法－電気・電子－第 2-6 部：正弦波振動試験方法

JIS E 3013 鉄道信号保安用語

JIS E 4001 鉄道車両－用語

JIS E 5004-1 鉄道車両－電気品－第 1 部：一般使用条件及び一般規則

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JRIS J 0581 鉄道車両－ATS-S 形車上子

規格概要につき以下は省略する。